

# 第1回 FLECフォーラム

～社会的養護の健全な発展のために～

主催：全国家庭養護推進ネットワーク  
助成：日本財団

日 程 2019年 2月2日（土）・3日（日）

会 場 ベルサール神保町

## FLECフォーラムとは

すべての子どもたちに家庭での生活を（Family Life for Every Child: FLEC）という思いをこめて、家庭養護とその関連分野にさまざまな立場で携わる関係者が集い、相互のネットワークの構築・強化を図るとともに、実効性のある施策について意見を交わすことを目的に、FLECフォーラムを開催します。家庭養護の推進に興味・関心のある方はどなたでもご参加ください。

## 主なトピック

- ・これらからの社会的養護を展望する一ビジョン、計画策定要領の公表、そして都道府県計画の見直しに向けて
- ・里親を増やすための方策と家庭養護を推進するためのフォスタリング機関、児童相談所のあり方
- ・家庭養護の推進に向けた施設のあり方
- ・社会的養護と障害児施策、子育て支援、母子保健等の他施策との連携
- ・要保護児童を対象とした特別養子縁組の展望
- ・多様な子どものニーズに対応する家庭養護の質の向上
- ・今後の家庭養護の推進に向けて

## 全国家庭養護推進ネットワークとは

家庭養護とその関連分野の関係者相互のネットワークの構築・強化を図るとともに、実効性のある施策について、志ある方々が、それぞれの主体間の垣根や主義主張の相違を超え、横断的に交流、討議するプラットフォームとして設立いたします。

## 全国家庭養護推進ネットワーク 共同代表



相澤 仁

大分大学  
福祉健康科学部  
教授



潮谷 義子

社会福祉法人慈愛園  
理事長、  
前熊本県知事



柏女 霊峰

淑徳大学  
総合福祉学部  
教授

平成28年の児童福祉法改正において、我が国の社会的養護においても、里親委託をはじめとする「家庭養護」が原則とされ、さらに子どもたちのパーマネンシー保障という観点から特別養子縁組を推進する方向も明確に打ち出されました。

今後、改正後の児童福祉法や先般の「新しい社会的養育ビジョン」（平成29年8月2日）、厚生労働省による「都道府県社会的養育推進計画の策定要領」を踏まえ、各都道府県においてこれまでの計画の見直しが進められますが、家庭養護を現場で実際に推進するためには、里親、ファミリーホーム、施設、児童相談所、民間養子縁組あっせん機関、フォスターリング機関、学会、行政、メディアなどの様々な関係者相互のネットワークを構築・強化するとともに、それぞれの現場で関係者が共通認識の下、密接に協力して具体的な対策に取り組むことが必要となります。また、今後は障害児施策や子育て支援施策、母子保健施策、学校教育等の関連分野との連携と協働も、ますます重要性を増してきます。

こうした現状を踏まえ、関係者相互のネットワークの構築・強化を図るとともに、具体的に講ずるべき実効性のある施策について、志ある方々が、それぞれの主体間の垣根や主義主張の相違を超え、横断的に交流、討議するプラットフォームを設けようと、今般「全国家庭養護推進ネットワーク」を立ち上げ、第一回「FLECフォーラム」を開催することとしました。

FLECとは、Family Life for Every Childの頭文字をとり、すべての子どもに家庭での生活を、という気持ちをこめて名付けました。このネットワークとフォーラムが、わが国のすべての子どもたちの未来を切り拓く一助となることを切に願っております。

## 全国家庭養護推進ネットワーク幹事

相澤 仁	大分大学福祉健康科学部教授	花田 悦子	児童養護施設「報恩母の家」施設長
新井 淳子	(一社)こどもみらい横浜会長	藤井 康弘	東京養育家庭の会理事、元厚生労働省障害保健福祉部長
柏女 霊峰	淑徳大学総合福祉学部教授	宮田 俊男	大阪大学産学共創本部特任教授、(医)DEN理事長
上鹿渡和宏	長野大学社会福祉学部教授	山本 節子	ファミリーホーム「ホームばあばば」
北川 聡子	(社福)麦の子会総合施設長	ロング朋子	(一社)ヘアホープ代表理事
木ノ内博道	(特非)千葉県里親家庭支援センター理事長	渡邊 守	(特非)キアセット代表
潮谷 義子	(社福)慈愛園理事長、前熊本県知事		
都留 和光	二葉乳児院施設長		